

NO	団 体 名	講 師 氏 名	講 師 職 名 等	テーマ	実 施 日
	石川地域づくり協会	①森山 奈美 ②土屋 望生 ③尾野 寛明 ④谷内 博史	①株式会社御祓川 代表取締役 ②株式会社日添 ③有限会社エコカレッジ 代表取締役 ④NPO法人NPO政策研究所 理事	①地域づくりの陥りがちな罠 ②超小規模地域での仕事づくり ③描けば動ける ④対話から気づき行動へつなげる	①令和3年9月18日(土) ②令和3年10月16日(土) ③令和3年11月5日(金) ④令和3年11月6日(土)
	講 演 内 容			研 修 成 果	
1	令和3年度のいしかわ地域づくり塾は、令和3年7月17日に無料のプレ講座を、8月21日から12月11日に本講座を開講し、受講生が自らの地域で今後取り組みたいことを「マイプラン」としてまとめ上げる「わがまちプランコース」を開催した。 講座は前半にゲスト講師の講義、後半に年間受講者による演習(ゲスト講師もアドバイザーとして参加)で構成した。このうち、ゲスト講師の講義は年間受講者以外の聴講も可能とし、地域づくりの第一人者から直接知見を得て、意見交換できる機会をより多くの地域づくり関係者が得られるようにした。 今回助成申請した講座における講義の概要は次のとおり。 【9/18:森山奈美氏】 ○テーマ:地域づくりの陥りがちな罠 クリティカルシンキングの手法を取り入れ、地域づくりに熱心な人が、どうして活動が広がらないのかと陥りがちな罠の例を取り上げて、良いプランを作成するための問いの方法を学んだ。 【10/16:土屋望生氏】 ○テーマ:超小規模地域での仕事づくり 超小規模地域において地域の人たちや地域の資源を活かした地域づくりのために、課題解決ではなく「自分のやりたいことをやっている人を増やすこと」、「今いる人がいかに幸せに生きれるか」ということを大切にしたい取り組みについて話をいただいた。 【11/5:尾野寛明氏】 ○テーマ:描けば動ける 肩書がなく、何かをしたいと思っているが一步を踏み出せない「普通の人」が今後の地域づくりには重要であり、「普通の人」を前に進ませるには、ひたすら共感することや、企画書を作ってモヤモヤを言語化してもらうことが必要との話をいただいた。 【11/6:谷内博史氏】 ○テーマ:対話から気づき行動へつなげる 地域づくり活動を進めるうえで周囲の協力を得るための、対話の仕方や相手の声への耳の傾け方をグループワークを通じて学び、一人の問題意識から仲間たちと共通の課題解決行動へつなげることの重要性の話をいただいた。			参加者アンケートでは、回答のあった方の大半から「満足した」「やや満足した」との回答があった。また個別コメントでは例えば ・相手を批判的にみるばかり思っていました、自分を批判的に見ることが重要になるとは考えたことがありませんでした。様々なパターン・事例を教えていただきました。(9/18) ・課題解決が目的ではなく、地域の良さを地域住民として共有することの大切さに気づいた。(10/16) ・「週末ヒーロー」の考え方を深める機会となった。地域で何か始めたい人が増えていることを再確認した。(11/5) ・これまでは意見が違えばそれで終わりだと思っていた人とのつながりでしたが、例え逆の意見でもきちんとした話し合いができた場合はまだ終わらない可能性もあるのではないかと勇気が得られました。(11/6) といった感想など、多くの参加者が講座で得た気づきを回答しており、参加者が地域づくりを進めていくにあたり、ゲスト講師の講義がプラスになったものと思われる。 また、講義に加えて受講者との対話やプラン実習への指導も行っていたが、地域づくりの第1人者から直接指導を受けたことで、年間受講者が作成するマイプランの課題解決につながった。最終的に、年間受講者5名中3名が講座を修了した。	